

9月5日(月)

多 数 意 見

聖書朗読 民数記 13:17~24

もし、私たちが主の御心にかなえば、私たちをあの地に導き入れ、それを私たちに下さるだろう。あの地には、乳と蜜が流れている。 民数記 14:8

イスラエル政府の観光省のマークを多分見たことがあると思います。2人の人が、大きなブドウの房を棒に通して担いで運んでいる絵です。それは、神様が、ご自身が選ばれた民のための用意された肥沃な地のシンボルです。

砂漠で野営し、約束の地に入る態勢を整えていたイスラエルの民は、それ以上の何を求めたのでしょうか？ イスラエルの民には、その地を彼らにお与えになるという神様のお言葉がありました。それより以前に、イスラエルの民は、エジプトでの奴隷としての生活から神様の偉大な御力で救い出されるという経験をしていました。そして今、カナンで自分たちを待っている、神様がとお与えくださる素晴らしい地のしるしをその目で見ました。神様が備えてくださる未来に希望を託し、信じ、それに向かって進むあらゆる理由が、そこにありました。

にもかかわらず、イスラエルの民は恐れ、躓きました。神様が約束してくださった、自分たちのさだめからしり込みして、主なる神様を侮りました(民数記14:11)。そして、彼らのさだめは、一世代遅れました。

その理由はどこにあるのでしょうか？ それは、彼らが多数意見を信じたからです。カナンの地を探りに行った12人の斥候の投票は10対2で、神様がくださる乳と蜜が流れる地に入るのを止めようという意見が多数でした。狭量で小心の10人が、どうして神様のお約束を推し量ることなどできるのでしょうか？ 「主が私たちとともにおられるなら、私たちはその地を得るだろう」とヨシュアはイスラエルの民に、そして私たちに呼びかけます。神様と数は多くなくても神様に従う者が、真の多数であり続けるのです。

聖 歌 604

祈 り お父様。疑いと恐れが襲ってきたとき、みことばを信じ、神様のお約束にお頼りして、神様が備えてくださった未来に信仰を持って向かう強さを与えてください。

キリストにおいて。アーメン。

ケン・ダラム

テネシー州 ナッシュビル

今日の力

2016年9月5日~9月11日

翻訳 村越克子

中野雄貴

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月6日(火)

鍵っ子

聖書朗読 申命記 6：1～19

私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えない。

申命記 6：6～7

私は「鍵っ子」でした。両親が離婚して、母親が働いていました。学校が終わると、宿題、家のこと、母親から言われたことをしなくてはなりません。母親は、夕方、仕事から帰ってきたときに、これらのことが全部ちゃんとできていることを期待していました。

両親が離婚する前は、夕方は父親が家にいました。私は、父親と話すのが好きでした。彼は私の話に耳を傾け、私を励まし、アドバイスしてくれました。でも、あるときから突然、父親が家にいなくなってしまいました。

そのころ、私には、天国のお父様のご臨在がよくわかりませんでした。でも、今は、お父様はいつも私と一緒に家にいてくださり、話しかけることができ、お父様がいてくださることを覚えることで、心安らかになります。お父様は、私の話に耳を傾け、励まし、導いてくださいます。

今は親として、子どもたちに、彼らを愛し、常にともにいてくださる天国のお父様がいらっしゃることを教えています。天国のお父様は、私たちの話に耳を傾け、心安らかにしてくださり、私たちを導き、励ましてくださいます。たとえ何が起ころうとも、彼らにはお父様がいてくださいます。

神様のご臨在について、子どもたちと話しましょう。

讃美歌 第二編 78

祈り 親愛なる主よ。私たちが自分の子どもや他の人の子どもたちに教えるとき、私たちを導いてください。あなたをご信頼することを教えられるように助けてください。

キリストの御名において。アーメン。

スー・ラザマン

カリフォルニア州 アンテロープ

9月7日(水)

主の勝利の民

聖書朗読 ヨシュア記 6：1～21

正しい者たち。主にあつて、喜び、楽しめ。すべての心の直ぐな人たちよ。喜びの声をあげよ。
詩篇 32：11

主の軍はエリコの町に近づき、城壁という手ごわい障害物のところまで来ました。城壁は厚くて堅牢で、そのうえ勇士によって守られていました。しかし、非凡な戦いをなさる主が、ヨシュアを通じて、戦闘計画を与えてくださいました。祭司と戦士は6日間、1日1回、町のまわりを回ります。イスラエルの民は、7日目にときの声をあげるまで、叫んだり、声を聞かせてはいけないと命じられました。彼らの叫びは、信仰の叫びであり、全能なる神様が彼らに与えてくださると約束された勝利に備える叫びなのです。そして、エリコの城壁はくずれ落ちました。

私たちは、クリスチャンという旅路において、絶えず障害に出くわします。人が自分に敵対するときもありますが、自分で作った城壁都市に出くわすこともあります。例えば、自己中心という大都市、貪欲という郊外の町、臆病という村などです。

主の戦術を信頼し、敬虔な沈黙と不断の祈りをもって、武装した場所を回ること、私たちは、そういった障害に打ち勝つことを約束されています。そして、信仰によって、喜びの叫びを発することができるのです。

聖歌 460

祈り 私たちの主よ。あなたを映し出す者になるという戦いにおいて、日々、私たちを強めてください。沈黙を守るとき、言葉を発するとき、瞑想するとき、そして喜びの声をあげるときを見極める能力を与えてください。
平和の君による平安がありますように。アーメン。

キャロリン・ハンター

カリフォルニア州 マリブ

9月8日(木)

彼はあなたの人生を立て直します

聖書朗読 ルツ記 4:13～17

ナオミはその子を取り、胸に抱いて、養い育てた。近所の女たちは、「ナオミに男の子が生まれた」と言って、その子に名をつけた。 ルツ記 4:16～17

ナオミは、自分は満ち足りてベツレヘムを出て行ったが、素手で帰ってきたと痛々しく言いました。まず、干ばつによる飢饉が、彼女の家族の生活を壊しました。次に、夫のエリメレクが死に、ほどなくふたりの息子、マフロンとキルヨンも死にました。ナオミは、モアブに残ることが息子たちの嫁にとっては最善だと思いましたが、2人の嫁のうちオルパだけが実家のあるモアブに残ることを選びました。ナオミは義理の娘を一人を失いました。

しかし、それ以上に満ち足りたことがありました。ルツはナオミにすがりついて「あなたの死なれる所で私は死ぬ」と言いました(ルツ記1:17)。さらに、ルツは落ち穂を拾い集めるために畑に行きました。その畑は、舅のエリメレクの一族に属するボアズのものであることが後でわかりました。落穂拾いを終えてナオミのもとに戻ったルツは、大麦を渡しました。そして、ナオミはお腹がいっぱいになるまで食べました(2:18)。ナオミはルツに、今夜、ボアズが大麦をふるい分ける打ち場に行くようにすすめました。ボアズは、エリメレクの畑の買い戻しの権利をもつ親戚だったので、彼はルツを妻に迎えました。ナオミは裕福な義理の息子を得ました。そして、満たされることはまだまだ続きました。ボアズとルツに、一人の男の子が生まれました。その子はナオミの心の内を満たし、女の人生を立て直す者となりました。

ときどき、私たちは自分が本当に空っぽになってしまったように感じる場合がありますが、主をお待ちしましょう。主は、私たちが一番大切に思う夢以上のことで私たちを再び満たしてくださいます。

讃美歌 517

祈り ああ、神様。私たちの主イエス・キリストのお父様。あなたの愛で、私たち一人ひとりの心を満たしてください。私たちの魂が御国からの炎で再び燃え上がりますように。

私たちの救い主の御名において。アーメン。

トム・H・オルブライト
テキサス州 オースティン

9月9日(金)

神様との約束

聖書朗読 Iサムエル 13:2～15

「民が私から離れ去って行こうとし、また、あなたも定められた日にお見えにならず、ペリシテ人がミクマスに集まったのを見たからです。今にもペリシテ人がギルガムの私のところに下って来ようとしているのに、私は、主に嘆願していませんと考え、思い切って全焼のいけにえをささげたのです。」

Iサムエル記 13:11～12

主よ。今すぐ、私に忍耐力を与えてください。この世は、時計、電話、タブレット端末、カレンダーに支配されているようです。遅刻すると、相手に対する敬意が欠けているとか、段取りが悪いとか、相手のことを考えない無神経さとみなされます。

私たちは、どのようにして神様のときと関わるのでしょうか？

サウルと同じように、私たちは、恐れや不安、衝動に支配されることがあります。神様がともにしてくださること、私たちの人生に今このとき関わってくださることを強く望みます。アメリカ式のやり方は、行動に出ることです。しかし、モーセの80年間、あるいはイスラエルの民の子どもたちの40年間、さらに「私の恵みは、あなたに十分である」と使徒パウロに言われた主のみことば、そしてイエス様の30年間から、私たちが学ぶべき忍耐についての教えを考えてみましょう。

日々の試練や苦難と戦っているときに、神様にお頼りすることこそが、私たちの課題です。イエス様は、神様が定められたときに、ラザロのお墓にいらっしゃいました。神様は空の鳥や野のゆりにさえも備えてくださいます。ですから、間違いなく、神様の子どもである私たちには、その日のために、パンと十分な恵みを備えてくださり、私たちは、そのことをお父様にお頼りすることができるのです。

讃美歌 313

祈り 主よ。あなたがともにいてくださる慰め、恵み、私たちの日々を祝福してくださることを感謝します。あなたが定められたときを常にご信頼して、私たちの人生におけるみこころを実行しそこなうことがありませんように。

イエス様の御名において。アーメン。

ブルース&ジェーン・エヴァンス
テキサス州 グランベリー

9月10日(土)

告白することは絶望ではありません

聖書朗読 IIサムエル 12:11~25

神よ。御恵みによって、私に情けをかけ、あなたの豊かなあわれみによって、私のそむきの罪をぬぐい去ってください。
詩篇 51:1

罪の行いは、しばしば醜い傷跡を残します。罪悪感を告白し、恥ずかしさと屈辱感を感じると、2度と再び人に会いたくないし、人から見られたくないと思います。大きな希望が脚元に開いているに、それを飛び越えて、視界の外に落としてしまうことは、あわれみを追い出してしまっているように思えます。

自傷行為の死を招く悲劇的な人生や絶望についてのすべての話は、多くの深い悲しみを引きおこします。運命論が希望に勝ち、家族や友人が感じる痛みは、ほとんど考慮されません。神様のことさえも、考えられなくなります。

ダビデとバテ・シェバの不倫は、舞台や映画の中でのドラマティックな物語におけるセンセーショナルなものではなく、真面目な反省の衝撃を与えます。王という立場にあったにもかかわらず、ダビデが犯したショッキングな汚点と神様の御前で不道徳な行ないは、多くの嘆きの結果を招きました。罪を犯すと、悲惨な損失を支払います。

しかし、神様に感謝すべきことに、信仰によって、生きることに絶望することは、ダビデの場合は、損失の一つにはなりません。告白は苦しく、生まれたばかりの子どもとの死別は、もぎとられるような経験でした。そして、利己心や自己防衛のどちらもダビデを救いませんでした。改心とあわれみ深い神様だけが、ダビデの中に正しい魂をよみがえらせることができました。

ダビデは神様のあわれみに値しないと、あなたは思いますか？ 彼があわれみに値する者であったなら、それは、「あわれみ」というものではないのです。

讃美歌 第二編 3

祈り お父様。誘惑が私たちを閉じ込めるとき、出口を与えてくださることに感謝します。あなたや他の人に罪を犯したときでも、再入場するドアを開けてくださり、受け入れてくださることを感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ウィリアム・E・ヤング
コロラド州 モニュメント

9月11日(日)

距離を縮める

聖書朗読 IIサムエル 14:1~24

あなたの子どもたちはみな、主の教えを受け、あなたの子どもたちには、豊かな平安がある。
イザヤ 54:13

ダビデは神様から「彼はわたしの心になつた者である」と言われましたが、それでも彼は人間的な関係に苦しんでいたようです。彼にはイスラエル王国に関する多くの問題について考える時間はあったようですが、彼の息子に関わっていく時間があつた様には思えません。

聖書にはダビデが「アブシャロムに敵意を抱いていた」と書いてあります。しかしそれならばどうしてダビデはアブシャロムが三年以上の逃亡生活を送ることを許したのでしょうか。どうしてダビデはやもめの話の中に自らの姿を見出せなかったのでしょうか。どうしてダビデはアムノンの死を乗り越えられたと認めたにも関わらず、アブシャロムがエルサレムに戻ってきた後、彼に「私の顔を見ることはならぬ」と命じたのでしょうか。

私たちはこれらの疑問すべてに正答することはできません。きっとアブシャロムは取るに足らない者だったか、ダビデが予想し望んでいたほどの興味を引く存在ではなかったからでしょう。父と子の間には心身共に離れていたように思われます。

私たちは神様に子どもをしっかりと見つめることができるようにお願いすることができます。私たちはやらなくてはならないことがあります。その中から自分とそして子どもの心を見つめる時間を取れますようにとお祈りすることができます。私たちが子どもとの関係に残ってしまっている傷はありませんか。神様の目を通して子どもと自分自身とを見つめてみなさい。距離を縮めるのです。今すぐに。

讃美歌 461

祈り 天にいます父なる神よ。私たちに子どもがおります事を感謝いたします。どうか神様と神様の絶対の愛で子どもたちを祝福できるよう私たちに知恵をお与えください。

信じますイエス・キリストを通してこのお祈りを御前にお捧します。
アーメン。

アニタ・プライス
テキサス州 ラボック